



林業

2021年度新規採用職員インタビュー

「山を守ることですなわち人を守ること」

所属 農林水産部 森林保全課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私が所属する森林保全課では、森林保護や緑化の推進、治山施設の整備、保安林の指定等の業務を行っています。その中で私は山地災害危険地区の管理等を担当しています。土砂崩れ等の災害が起きる危険性のある山を事前に選定し、対策を行うことで災害を未然に防ぐことができます。山地災害危険地区を適切に管理することが、ゆくゆくは私たちの暮らしを守ることにつながるので、非常にやりがいを感じられる仕事です。



↑ 植栽木の状態を確認している様子

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 私が所属する森林保全課の仕事の一つとして、震災の津波により被害を受けてしまった海岸防災林の復旧があります。クロマツを主とした樹木の植栽は完了に向かっており、これからは植栽木が大きく強く育つように整備をしていくことが私たちの重要な仕事となります。今後は、現場において樹木の生育状態をよく判断し整備計画を立て、福島県の沿岸部に津波にも負けない強い海岸防災林を育てあげていきたいです。



Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 大学生の時に、原発事故の影響で県内の森林の整備ができず、森林が荒廃し、土砂崩れ等の災害が発生しやすい危険な状態にあることを知りました。そこで、福島県の森林を再生させるための力になりたいと思い、県の林業職を志望しました。



↑ 測量の様子



↑ 打ち合わせの様子

Q. どうやって仕事を覚えていますか。

A. 分からないことがあった場合、ためらわずに先輩職員に聞くようにしています。ただし、一度自分で調べてそれでも分からなかった場合です。また、知識不足な部分も多いので、国や県の規則等を何度も確認して仕事を覚えるようにしています。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「震災を経験し県職員に」「野球人生」「浜から中へ」「無類の生き物好き」「ラーメン」

Q. 「野球人生」について教えてください。

A. 小学校から大学までずっと取り組んできた野球をとおして、チームで力を合わせて物事に取り組む大切さを学ぶことができました。これからは県職員というチームで力を合わせて、福島県をよりよくするために尽力していきたいです。